

H25. 8. 24

# ジェネリック医薬品



**長尾和宏** (ながお・かずひろ)  
 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。近著「平穏死・10の条件」「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。55歳。

ジェネリック医薬品(後発医薬品)という名前がよやく市民権を得てきました。テレビコマーシャルの影響も大きいかと思えます。診察室で高齢者が「先生、あれ、あれ」と言い出したら、たいていジェネリック医薬品に関する質問です。



「お薬」シリーズ③

## 薬剤師に聞いて、上手に選びたい

して特許が切れると、いくつかの製薬会社がこぞってジェネリックを製造し販売します。

最初に「お薬」シリーズ③

ジェネリックの薬価(公定価格)は、先発品より安いので、患者さんの窓口負担も安くなります。昔はジェネリックはあまりいいイメージがなかった。しかし、現在ではジェネリックは単に安いだけではなく、明るく前向きなイメージになりました。

ジェネリックの薬価(公定価格)は、先発品より安いので、患者さんの窓口負担も安くなります。昔はジェネリックはあまりいいイメージがなかった。しかし、現在ではジェネリックは単に安いだけではなく、明るく前向きなイメージになりました。

**薬価** 健康保険で給付される薬の価格は、国(厚生労働省)が決める全国統一価格である。薬価は原則2年ごとに改訂される。調剤薬局では、薬価の合計に調剤料や副作用などを書いた紙による情報提供料もプラスされる。

エネリックでした。窓口の自己負担は先発品の約半分。効果はよく分かりませんが、値いは断然安く、お徳感がありました。

知っているほしいのは、いまやジェネリックを処方しない医師は悪徳医のようにいわれる時代です。薬局もジェネリックを含む処方箋が少なく、経営できない仕組みになりました。時代が変わると薬をめぐる価値観も激変します。

不景気なこのご時世、ジェネリックの人気の高まるのは当然です。しかし、患者さんがジェネリックに詳しくなるのは難しい。医師に聞いても適切な回答ができないことも多い。

「ジェネリックは成分が先発品と同じ薬ですよ。効果もだいたい同じじゃないかな」と答えています。

「私自身、過労で帯状疱疹が出て医者にかかったとき、処方箋をもらいました。それを持って薬局に行きましたが、薬剤師が勧めてくれたのはジェネリックでした。患者さんによく聞かれる質問は「ジェネリックと先発品の効果は同じですか?」。私は「ジェネリックは成分が先発品と同じ薬ですよ。効果もだいたい同じじゃないかな」と答えています。

また、ジェネリックというのは1つの薬とは限りません。たいてい複数あります。人気先発品に対してメーカー各社が10種類ものジェネリックを作っていることもあり、町の薬局ではその中の1つと先発品の2種類を置いて

そんな時、頼りになるのが薬剤師です。病院や診療所、あるいは町の調剤薬局にいる薬剤師にジェネリックのことを遠慮なく質問してみてください。

薬剤師が勧めてくれたのはジェネリックでした。